

# 令和6年度 島根県教育研究会 第1回理事評議員会（議事録）

日時：令和6年5月31日(金)10:00～15:00

会場：サンラポーむらくも 2階 瑞雲の間

議事進行：(前半)小林 (後半)後藤

記録：吉野・田村 ※ハイブリッド開催

## 1 開会

### (1) 会長あいさつ（福間会長）

- ・R5浜田大会では、初めてオンライン（中継およびアーカイブ配信）により大会開催し、多くの成果を挙げた。運営に当たった浜田市教研の皆様にお礼申しあげる。
- ・R6安来大会では、中山間地での教育のすばらしさをお示しいただく絶好の機会となる。
- ・一方、市郡教研大会開催については、(専門部等の)研究大会が開催される年度に共催する市郡も。今後の研究大会開催の在り方について、総合的かつ慎重に調整・検討願いたい。

### (2) 島根県教育委員会あいさつ（小林教育指導課長）

- ・R5浜田大会での実践や研究成果は充実したものになった。会員のご尽力に敬意を表する。また、担当指導主事が大会に向け研究活動に関わらせていただき、貴重な機会を得たことにも感謝する。
- ・県教委の重点施策として、
  - ①「理数教育の充実」…小中高の系統性・連続性ある取組を充実させたい。  
(例：「R4～R6しまねの学力育成プロジェクト」)
  - ②「幼小連携・接続の推進」…幼児教育機関と小学校が相互理解し、円滑な連携・接続を図る。  
(例：管理職および担当者同士の合同研修会、小学校区での接続期プログラム作成)

【教育論文・教育実践記録の入賞者報告】 審査結果報告：大島(島大附属)…資料P1  
(優秀賞1校、奨励賞2校、佳作2校)

## 【会則・内規事項等の変更部分確認】

- (1) 会則等綴P14：「大会開催市郡・専門部配分金一覧表」中の、「大会を行わない市郡：3万円」に出雲市と江津市を追加。
- (2) 会則等綴P8：「大会事務局の業務」に、「(11)研究大会事務局の引継」の項目を追加する。
  - ・引継者各1名を基本とし旅費支給。(複数の場合は2人目以降分経費は他から(当該市郡)負担)

## 2 議長選出 前年度事務局幹事 小林（古志原小）を推举

## 3 議事

### (1) 令和5年度事業報告について概要説明（勝部事務局長）…資料P2

### (2) 令和5年度会計決算について説明（勝部事務局長）…資料P3～P5 監査報告：小山（佐太小）

(質問①：新田(津田小))

Q：「活動基金」の額が大きいが使い道は？

A：10年ごとに開催される記念大会の経費。

Q：R5の支出は50万円ほどだが、記念大会では数百万を上乗せして開催するということか？

A：(この件について)過去にも理事・評議員会で話題になった。使い道について検討が必要という話が事務局の方でも出ている。

Q：ご検討願いたい。

## 4 令和6年度役員改選について…資料P7～8

### (1) 会長1名、副会長4名、監査員2名の選出

①選考委員選出…各教育事務所管内から1名ずつ計5名+事務局1名

### (2) 常任理事…各教育事務所単位理事からなる市郡代表5名

専門部研究会代表3名（造形、へき地、養護教諭）

(※R6安来大会・R8松江大会の関係で、R6松江市理事が2名になっていることの説明あり。)

(3) 役員選考及び結果の報告 (野津(出雲郷小))

- ・会長：勝部（意東小）
- ・副会長：仙田（荒島小）、佐々木（邑智小）、藤井（島根中）、後藤（八束学園）
- ・監査員：小山（佐太小）、吉田（広瀬中）
- ・常任理事：【松江】野津（出雲郷小） 【出雲】岡崎（塩治小） 【浜田】小谷（大田三中）  
【益田】寺戸（小野中） 【隠岐】元上（海士中）  
【造形】佐野（北浜小） 【へき地】大橋（桂平小） 【養護】本間（安来三中）

(4) 新旧役員あいさつ

○R 5 会長：福間（現・朝酌小）

- ・今春の役職定年後、18年ぶりに担任生活を送っている。昨年は、R 5 浜田大会の授業会場校全て訪問することができた。今後も県教研は県内の教育を下支えしていくよう、また、県教研がさらに発展していくよう願ってやまない。ありがとうございました。

○R 6 会長：勝部（意東小）

- ・今年度も理事、事務局の皆さんの方を借り、頑張っていきたい。よろしくお願ひします。

(5) 幹事及び事務局長の委嘱…新役員決定後の役員一覧表配付

(勝部会長より委嘱内容の説明)

- ・事務局長：青山（古江小）
- ・事務局幹事：（※役員一覧表のとおり）
- ・書記：伊達（湖北中）

(6) 研究推進委員会委員の選出について…資料 P 9

- ・研究体制のより良いやり方を検討するために設置。会長の諮問に応える形で答申。

・研究推進委員の構成及び選考について

○委員長 1名：県教研副会長が兼任 (R6：後藤(八束学園))

○市郡研究会理事代表 2名：市郡研究会関係理事より選出 ⇒ 岡崎(出雲)、小谷(大田)

○専門部研究会理事代表 2名：R6 専門部常任理事より ⇒ 大橋(へき地)、佐野(造形)

○優れた見識を有する会員 5名：(各教育事務所地域から 1名)

⇒ 後日選考・報告 ⇒ 片寄(松江)、三島(出雲)、土井(浜田)、寺戸(益田)、元上(隠岐) に決定

○県教研事務局員

5 感謝状の贈呈…資料 P 10

(1) 表彰者紹介…表彰規定により、資料 P10 の表の通り、7名に感謝状を贈る。

(2) 感謝状贈呈

本日は、7名を代表して福間敏之氏(前会長)に贈呈

(表彰者代表あいさつ) 福間敏之氏(前会長)より

6 議長選出

\*事務局より、慣例により議長は副会長が務める案を提示し、了承を得る。

- ・議長：後藤副会長(八束学園)に決定

7 議事

(1) 令和6年度運営方針について…資料 P 11

①基本方針：

- ・県内学校教育職員の研修充実と県内教育振興発展に寄与することを目的とする。
- ・国の動向、県及び市町村の教育施策を踏まえながら、毎年度開催の県教研大会を魅力的で充実したものにしたい。また、この研究大会は県教委の教育課程研究集会として併催している。
- ・R 5 浜田大会は、(参加が容易なオンライン開催ということもあり、)約 450 名の参加者のうち、80%が管理職以外の参加であり、実践的な研究・研修機会となった。
- ・R 6 安来大会は初の3校合同遠隔授業、半日開催、また、小規模校での開催の方向性検討。
- ・教職員の I C T 活用力向上を図り、専門部と市郡研究のさらなる充実を支援していきたい。

②令和6年度事業計画について…資料P12～P14

○今後の県教研大会開催について

- ・第65回安来大会（A年度）
- ・第66回邑智大会（B年度）
- ・第67回松江大会（A年度）

○専門部研究大会への支援について

- ・A・B・C・Dそれぞれへの支援を行う。

○市郡教育研究大会への支援について

- ・松江市、安来市、仁多郡が予定されている。

○教育論文並びに教育実践記録の募集について

- ・例年通り募集

○研究推進委員会等による検討について

- ・検討の必要が生じた場合に、研究推進委員会の諮問を行い答申を得ることとする。

○県教研大会の在り方検討

- ・7/8に常任理事会で検討する。

(2) 令和6年度事業計画について…資料P12～P14

①令和6年度県教研事業計画について

○事務局関係

○会報等

○教育論文・実践記録

②令和6年度研究大会予定表について

○県教研大会

○市郡大会

○専門部大会

(3) 令和6年度予算について…資料P15～P17

○県教研予算書(P15)、市郡大会助成・配分額(P16)、専門部大会助成・配分額(P17)について

※資料に沿って概要説明

(4) 質疑応答

Q 「活動基金」の使い道は？額がかなり大きいが。

A 10年ごとに開催される記念大会の経費ではあるが、今年度の積算額は600万円程度になる見込み。運用の在り方について、事務局で原案を組み、理事会または常任理事会等で検討後、第2回理事会で説明させていただく。

Q 「県専門部大会」への支援について、(事前の)準備金(の配分)や、当該年度の支援金の増額をいただくことを検討願いたい。現状では十分な額ではないように思う。

A 状況の理解できる。ご意見として検討し、来年度に生かしていきたい。

Q 社会科は、今年度、小学校が全国大会開催、中学校も別日に別会場で県大会開催であるが、配分を考慮いただけないか。

A (同年度に)2つの別大会を運営する事情は分かった。今後、社会科専門部とも相談し、前向きに検討し、回答したい。

Q 社会科部会として、特に全国大会開催には大きな経費がかかる。社会科に限らず、全国大会や中国大会開催の場合は、配当金を別途予算立て願えないか。

A ご意見として承り、検討したいと思う。

(※拍手多数により事業計画、予算案を承認)

(4) 各研究大会開催年次計画について…資料P18～P21

○市郡教研大会開催年次計画について(P18)

○県教研大会及び専門部大会開催年次計画について(P19)

○県教研大会、専門部大会、市郡教研大会の開催期日報告について(P20)

・各研究大会の開催期日は、開催前々年度の7月末日までに第3希望日まで報告願いたい。

⇒希望日が重複したら2月までに調整し理事会で承認。ただ、中国大会等開催日を早く決定する必要あれば、前々年度5月の第1回理事会での決定も可能とする。(R8分は現在未確定)

○県教研課題別分科会提案発表順について(P21)

・表にあるとおり、ブロック割当が2021年(R3年度)から変更になっているので確認のこと。

Q 中学校長会R7研究大会(松江大会)の日程を、11/21(金) 会場:サンラポーむらくもで予定。

A (特に回答なし)

Q R5年度に同じ日程で3つの専門部大会が重なったとき、「日程調整はしない」とのことだったが、今後は調整を行うとの理解でよいか。

A 今後は日程調整を行うので協力願いたい。

Q 「へき地教育の中四国大会(雲南大会)」が決定した。表に追記願いたい。

A (追記承認)

### ～ 昼 休 憩 ～

(午後の部:議事再開)

※R6予算書(案)について:修正のお願い(青山事務局長より)

・午前中議事のR6予算書(案)について、休憩時間にご指摘あり。収入総額と支出総額で差異が生じている。この予算書(案)は認められない。

⇒支出総額を収入総額と同額の15,328,900円、増減なしとする。

⇒支出金額を3万円減。内訳:予備費2,455,885円を3万円減の2,425,885円に、増減52,864円に変更。

⇒支出合計の増減を478,000円に変更。

⇒専門部研究費の摘要:昨年度のものが記載されているので修正。全て修正した予算書(案)を後日配布する。

## 7 議事の続き

(5) 第65回島根県教育研究大会(安来大会)について(仙田副会長より)

・資料「第65回島根県教育研究大会〔安来大会〕実施計画(案)」参照し、概要説明

・二次案内は7月上旬に発送予定。

・広瀬小学校の研究主題の訂正:子どもの姿を通して ⇒ 子どもの姿を目指して

・山佐小学校の記録者:会場校より ⇒ 安来市教研評議員

(飯石郡:松本理事より) 二次案内は各自申し込みだが、申込みが期待数を上回った場合どのように調整するか。

・全体で安来市以外から100名で考えている。100名を超える場合は調整をお願いする市郡がある。

(6) 第66回島根県教育研究大会(邑智大会)について(佐々木副会長より)

・資料「第66回島根県教育研究大会〔邑智郡大会〕」参照し、概要説明

・昼食をとれるところがなかなかないため、各自で準備すること。

・会場の大和地域と邑智地域は離れており移動に30分くらいかかる。

(7) 第67回島根県教育研究大会(松江大会)について(藤井副会長より)

・資料「第67回島根県教育研究大会(松江大会)案」参照し、概要説明

・資料表題の訂正:令和8年度→第67回

・八雲中校区と第四中校区が離れているので多少時間がかかる。全体での昼食は用意しない。(各自で準備。)

・資料21ページの課題別分科会提案発表順の表のR8に該当する市郡が課題別分科会発表。

(8) 令和6年度教育論文並びに教育実践記録の募集について(大島幹事より)

・資料22ページ「令和6年度(第56回)教育論文並びに教育実践記録の募集」参照し、概要説明

・県教研HPにこれまでの優秀論文を掲載しているので、参考にしていただきたい。

(9) その他

(人・同教育部：藤井理事より) 第 17 回島根県人権・同和教育研究発表大会雲南大会（第二次案内）について  
・資料「第 17 回島根県人権・同和教育研究発表大会雲南大会（第二次案内）」参照し、概要説明

(栄養教諭部：酒井理事より) 第 3 回島根県小中学校栄養教諭研究大会（浜田大会）<第二次案内>について  
・資料「第 3 回島根県小中学校栄養教諭研究大会（浜田大会）<第二次案内>」参照し、概要説明

(社会科部：飯塚理事より) 11 月 15 日(金) 島根県中学校社会科研究大会等について

・会場：出雲市立斐川西中学校、公開授業：斐川西中・斐川東中、平田中の持ち込み授業、

課題別分科会：益田市・隠岐郡・雲南市

・資料「第 62 回全国小学校社会科研究協議会研究大会（島根大会）最終案内」参照し、概要説明

(雲南市：難波理事より) 雲南市の市教研大会の在り方について

・雲南市の今後の県・中四国レベルの大会対応を考慮し、市教研大会の単独開催はやめることにする。県以上の大会のときに市教研は共催という形でやっていく。これまでの 3 年ごとの市教研大会開催はなしにする。

(出雲市：岡崎理事より) 県教育研究大会の在り方について

・出雲市も昨年度から市教研の全体会はしないということにした。県教研大会についても、これまでと同じような形でやっていくのは難しいのではないか。開催の見直しについて、大会取りやめも含めたゼロベースでの協議をしていく時期ではないか。働き方改革、学力向上、両方大事にしていくのだが、今後子どもの数が減り、学校が減る中で研究大会の開催そのものが難しくなる状況になるのは明白。出雲市はここ 5 年で中四国の大会を 3 つ抱えている。大会に向けて、かなり以前から準備をする必要がある。ゼロベースで考え、タイムテーブルをある程度決めて取り組む必要がある。

委員会の中で話をするということだが、できれば今年度中に、例えば各市郡にアンケートをとるとか、予算や規約もあり、県教研だけですぐに答えが出ないかもしれないが、先送りで何も決まらないと、今の状況を変えていくことは難しい。市郡によって、このことを議論しているところもあれば、全く話が出ていないところもあるかもしれない。ぜひ議論していただきたい。

(勝部会長より)

・午前中、運営方針の中で、このことに関しても説明させていただいた。結論としては、それぞれの市郡の状況を把握すること、もう一つは教科の研究大会との関係、そして県教委の教育課程研究集会と県大会は併催している、ということから関係各所との調整や状況確認が必要と考えている。7 月 4 日(木)に常任理事会を予定しているので、常任委員の皆様を中心に各市郡の考えを集約していただき、皆様からご意見をいただきながら、県内のすべての会員の皆様のご意見を踏まえ、方向性を出していきたい。研究推進委員会で方向性を出すという考え方もあるが、いきなりで難しいと思う。まずは常任委員会、そして理事会という流れでよろしくお願いしたい。

(出雲市：岡崎理事より)

・とても大変なことだと承知している。市教研レベルでも 1 年以上かかったので、県教研レベルだと時間がかかると思う。それぞれの市郡の立場を考えながらとなると、ある程度の案があるとよいと思う。

(青山事務局長より)

・常任理事会で先ほどの提案は協議していく。各市郡において教育事務所ごとの常任理事の皆様から様子を伝えていただき、また意見を出していただき、ある程度見通しが持てる会になるよう、ご協力をお願いしたい。

(小中教頭会：木山理事より)

・資料 19 ページ、下から 3 行目 D 教頭のところ、江津未定となっているが、11 月 14 日(木)教頭会研修会。

(国語部：金山理事より)

・資料 19 ページ、R10 中国大会出雲となっているが、山口との交渉で R12 中国大会出雲に変更となっている。

(小学校長会：安達理事)

・資料 19 ページ、R8 以降は記載してあるが未定。校長の学びを止めないことを前提とし、今ままの県大会の在り方でよいのか議論している。第 2 回理事会で示せるのではないか。大いに変更もありかもしれない。

8 連絡（青山事務局長より）

・市郡理事の皆様には、会費等の納入について、本日配布の文書に従いお願いしたい。会場にいない理事の皆様には後日送付する。専門部理事の皆様には、後日事務局より関係文書を送付する。メールにて送付するので担当の方に転送願いたい。

・資料最終ページ、島根県教育研究会後援名義使用承認申請書の様式で後援申請をお願いしたい。

・むらくも駐車場ではなく、他の駐車場を利用された方は、いったん清算し、領収書をむらくもまで。

9 閉会（仙田副会長より）

・非常に重い課題、重要な課題があるということを皆さんで共有できたかと思う。本年度の役員で少しでもよくなるよう動いていきたい。今後のご支援ご協力をよろしくお願いしたい。